

5月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
06/05/01 (月)	東京は再びドル独歩安。ドル/円もさることながら対ユーロでドル一段安。年初来安値を再び更新した。欧米は薄商いのなかドルが一時大幅暴落。しかしFRB議長の否定発言などもあり、その後急反発へ。	・メーデーのためロンドンなど主要欧州市場は休場 ・3月の米個人所得0.8%、同個人支出0.6%、同建設支出0.9%、4月のISM製造業景気指数57.3	・FRB議長「メディアや市場は証言内容を誤解している」 ・アトランタ連銀総裁「金融政策は目標水準にかなり接近」 ・シカゴ連銀総裁「金融政策は指標次第」	113.73	143.49	寄付
06/05/02 (火)	東京は一転ユーロ独歩高。対ドルだけでなく出遅れていた対円でもユーロ買いが進む。欧米は前日のドル高に対する調整からドルが冴えない。一方、英ポンドが終始強含み。		・イラン石油相副大臣「原油価格は冬場までに100ドルを超える可能性がある」 ・ミネアポリス中銀総裁「インフレターゲットは現状のFRBの政策に近い」	113.68	142.86	寄付
06/05/03 (水)	東京休場でアジアタイムは小動き。しかし豪州が予想外の利上げに動いたこともあり豪ドルが急騰。欧米は結果ユーロ高。米経済指標は悪くなかったが、この日は要人発言に注視したユーロ買い目につく。	・豪州が25BPの利上げを決定 ・3月のユーロ圏失業率8.1% ・3月の米製造業受注4.2%、4月のISM非製造業景況指数63.0	・谷垣財務相「G7声明にドルを低くしようという意味はない」 ・露政府高官「米ドルは外準通貨に適さない」 ・全米製造業協会「ドルは10%ほど買われ過ぎの水準」	113.33	142.90	寄付
06/05/04 (木)	アジアタイムは谷垣財務相の口先介入などもありドル小じっかり。終盤には目先抵抗114円を突破も。欧米はECB総裁やIFO所長による欧州金利の強気発言を受けユーロ独歩高。対ドルでは一時1.27ドル台。	・BOEが政策金利の据え置き発表 ・ECBが政策金利の据え置き発表	・谷垣財務相「過度な動きがあり、強い関心を持っていく」 ・ECB総裁「景気シナリオが確認されれば追加利上げは保証される」 ・ジノIFO所長「景気回復が続けばECBは利上げが必要」	113.75	143.69	寄付
06/05/05 (金)	東京休場ということにくわえNYタイムに米雇用統計の発表を控えアジアタイムは小動き。欧米は発表された米雇用統計が予想を下回ったことを嫌気しドル売り殺到。対円では1.7円も急落した。	・為替報告書発表前に人民元を切り上げるとの噂 ・米財務長官が辞任すると噂 ・4月の米失業率4.7%、同非農業者雇用数13.8万人	・スイス中銀総裁「スイス中銀は利上げを継続する」 ・アダムズ米財務次官「通貨の価値は市場に任せるべき」 ・イツングECB理事「ECBが金利に関して消極的過ぎる根拠はない」	113.53	144.14	寄付
06/05/08 (月)	前週の米雇用統計ショック引きずりおアニアタイムにドルは再びギャップを受けて安寄り。その後も冴えず。欧米に入ってもドル下げ止りの兆しうかがえず。OPTリガーをヒットし、111円の大口割れも見られた。	・米財務省が為替報告書を10日に発表すること明らかに	・安部官房長官「市場の動きは十分注意が必要」 ・フラット米財務省報道官「中国はさらなる人民元改革が必要であり、そして可能」	112.10	142.83	寄付
06/05/09 (火)	東京は一時ドル売りが先行するも下値では値ごろ感による買いも見られ、結局行って来い。欧米は人民元切り上げ観測などを受けた円買いも断続的に見られ、クロス中心に円は小じっかり。	・中国が金準備高を大幅に引き上げるとの噂あり ・3月の米卸売在庫0.2%	・谷垣財務相「為替の過度の変動は望ましくない」 ・米財務長官「米住宅市場は力強い」	111.68	141.83	寄付
06/05/10 (水)	東京はドルが小安い。ゴト日ということで一時ドル買いも散見されたが続かず。むしろ調整売り優勢に。欧米はレンジのなかで揉み合い。FOMCや為替報告書はドル買い材料ながらその上値も重い。	・4月の外貨準備8602.42億ドル、3月の景気先行指数60.0% ・FOMCで25BPの利上げ決定、声明は前回文言をほぼ踏襲 ・為替報告書発表「為替操作国に該当する国はない」	・クオールズ米財務次官「海外勢の米債離れが大きく進むことはない」 ・独連銀総裁「追加利上げの必要、少なくとも0.25%」	111.05	141.71	寄付
06/05/11 (木)	東京は為替報告書に対する失望などから調整的ドル買戻し進む。対円では1円以上の急騰を見せた。欧米は米小売売上高が予想よりも悪くドル売り材料に。しかし110円は割れず、その後は買戻しも。	・第1四半期独GDP速報値0.4% ・中東の銀行破綻の噂 ・4月の米小売売上高0.5%、3月の米企業在庫0.7%	・中国政府当局「人民元相場の柔軟性を継続」 ・ECB総裁「金利は実施ペースでまだ非常に低い水準」 ・蘭中銀総裁「金利は低すぎる必要とあれば25BPの調整ありうる」	111.08	141.73	寄付
06/05/12 (金)	東京はとくに目立った材料がなかったものの投機筋の仕掛けなどから100円割れへ。欧米は貿易赤字などを好感したドル買いにより一時強含みも米株の急落を嫌気し、終盤は冴えず。	・4月の景気ウォッチャー-現状判断54.6 ・3月の米貿易赤字 620億ドル、対中赤字 155.71億ドル、対日赤字 75.82億ドル、5月のシカゴ大消費者信頼感指数79.0	・安部官房長官「市場の動きを十分に注意」 ・バラモECB理事「調整には50BPの利上げも必要」	110.25	141.66	寄付
06/05/15 (月)	東京はWSJ紙の報道などもあり早朝から円買い優勢。ドル/円は110円以下に定着の様相。欧米は失望に終わった米経済指標からドル弱含みとなるも、商品安を受けた資金シフト思惑から切り返し。	・3月の経常黒字2兆3951億円、同貿易黒字1兆1086億円、同機械受注 5.2% ・人民元の対ドル基準値が8元割れ ・5月のNY連銀景況指数12.4、3月の対米証券投資698億ドル	・WSJ「ブッシュ政権はドル安を黙認」(13日付) ・福井日銀総裁「当座預金残削減とゼロ金利解除は別問題」 ・フラット財務省報道官「米政府はドルに関して特定の目標を設定せず」	109.67	142.02	寄付
				109.33	140.97	安値
				110.60	142.05	高値
				110.50	141.40	終値

\* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで